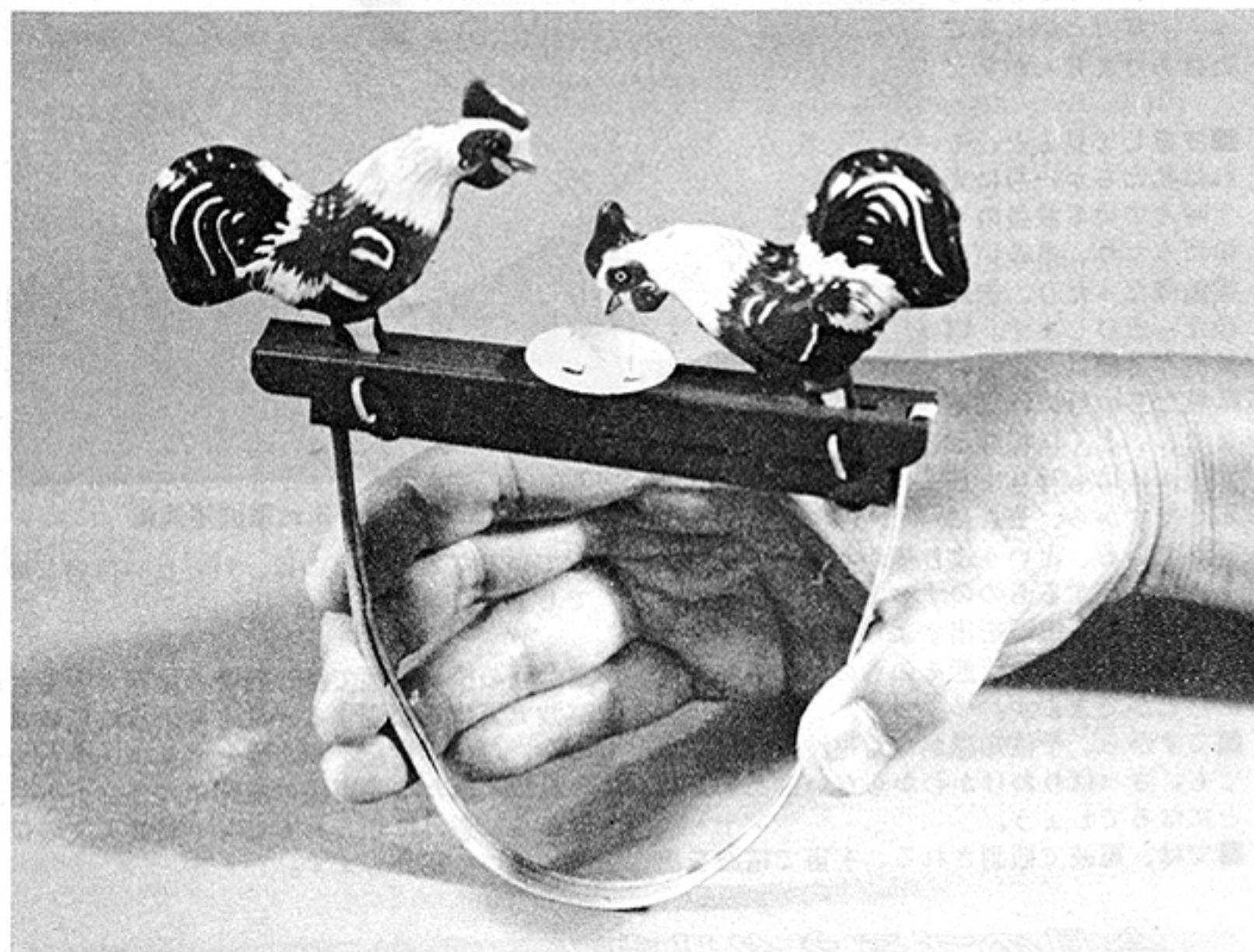




あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'93 1月号



玩具資料「えさをついばむ鶏」(中田コレクション)

あけましておめでとうございます。
平成5年の新春をみなさんとともにお慶び
申し上げます。

還暦を迎えた市制施行60周年の昨年は、
博物館にとりましても諸々の事業を推進した
記念すべき年でありました。

「相模平野と人間」の展示コーナーには、
映像情報機器の導入を含めて静的な展示から
動きのある展示をめざした展示替えを実施し
ました。また特別展では、春には「写真でみ
る湘南の野鳥」、夏には「おもちゃとあそび」
を開催し、現在冬の特別展として「砂浜の発

見—漂着物の世界—」を開催中でございます。
おかげさまで好評をいただき、来館者も一
昨年の同時期に比較して15.8%の伸びを示し
ています。

職員一同、美術館の開館とあいまって、芸
術・文化の学習コースとしてみなさんから期
待されていることを真摯に受けとめ、さらなる
充実発展を期して頑張ります。

本年もよろしくご支援をお願いいたします。

平塚市博物館 館長 吉川 功

今月のプラネタリウム

電波でみる宇宙

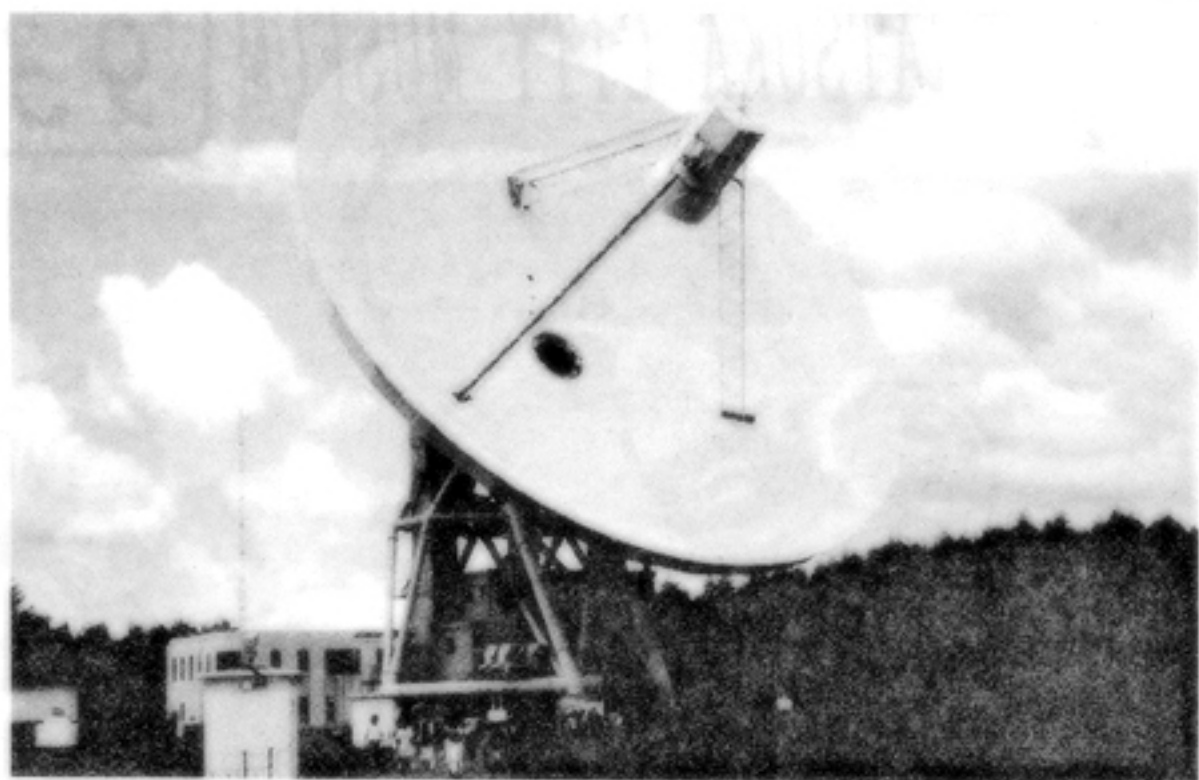
1月16日
~3月7日

■天文学上の新発見を伝える新聞記事の写真を見て、「どこがどうなのか、わけがわからん。」などと感じることはありませんか？

■注意して見ると、それは私たちが一般に光と呼んでいる波長のものだったり、あるいは電波像だったり、赤外線像だったりします。電波や赤外線は、実際には私たちの目には見えません。とくに電波はフィルムにも写りません。ですから、そこに写っている、というより描かれているのは、そこに存在するもののすべてを表わしているのではなく、電波を出すような状態にあるもの（あるいはその状態そのもの）の分布と見ることができます。

■ですから、予備知識がなく電波像だけを見ても、さっぱりわけがわからない、ということになるでしょう。

■では、電波で観測される、宇宙で電波を出



国立天文台野辺山電波観測所の45m電波望遠鏡

しているなどというのは、いったい何者なのでしょう。

■今回の投影話題では、毎晩の星空とともに、電波で天体を観測するとはどのような意味なのか、この半世紀、パルサーやクエーサーの発見など新たな宇宙像の展開に大きく寄与しながら、意外に知られていない電波天文の世界について紹介します。

今月のプラネタリウム

沈まない太陽

11月7日
~1月10日

プラネタリウム利用案内

投影日： 毎週 土、日曜日

投影時刻： 1回目 11:00、2回目 14:00

観覧料： 100円

定員： 86名

★途中入場はできません。

★土曜の11:00の回は団体予約を受け付けています。詳しくは博物館までお問い合わせください。

★観覧券は1階受付でお求めください。売り切れの場合はご了承ください。

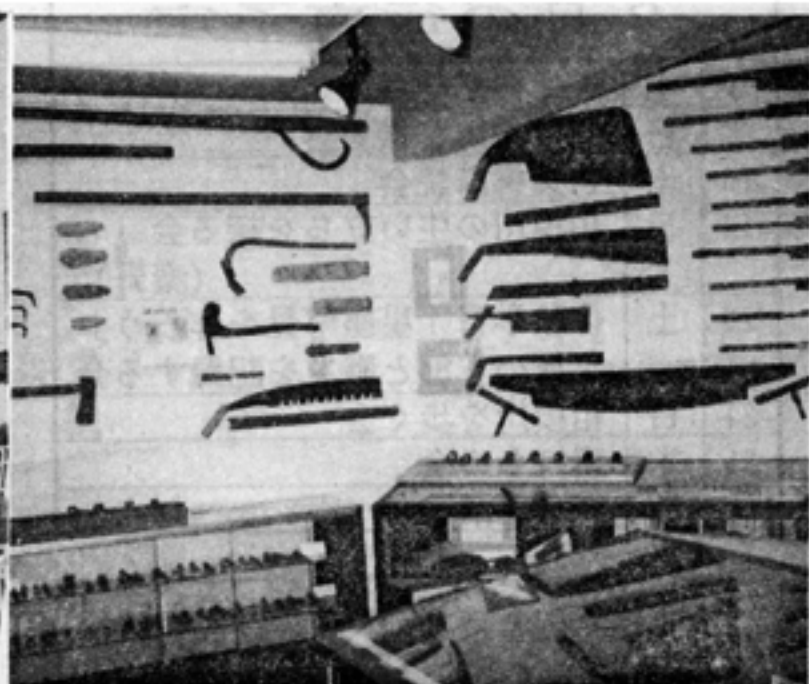
前場資料館

厚木市船子596

■「こんなところに資料館があるぞ。」国道129号線を通りながらお気づきの方があるかもしれません。

■今回、紹介する前場資料館（ぜんばしりょうかん）は、大工道具を展示した私設の資料館です。工務店の2階が資料館になっています。つくるにあたっては、神戸市にある「竹

中工務店」の資料館が参考になったとか。館長は、実際に建築業を営んでいる前場幸治さん。展示されている道具が、使い込まれたカンナやノミだからこそなおさら愛着を感じます。資料館をつくってまで永く保存しておきたかった前場さんの気持ちが伝わってくるようです。



《展示資料》

- ★約5000点の収集資料の中から、1200点を選び展示してあります。
- ・江戸時代からの鋸（のこぎり）手斧（ておの）錐（きり）等大工道具多数
 - ・中国、韓国の墨つぼ
 - ・小田原城絵図面や建築に関する古文書
 - ・前場さんの著書「大工今昔」「古瓦を追って」「国分寺古瓦拓本集」等

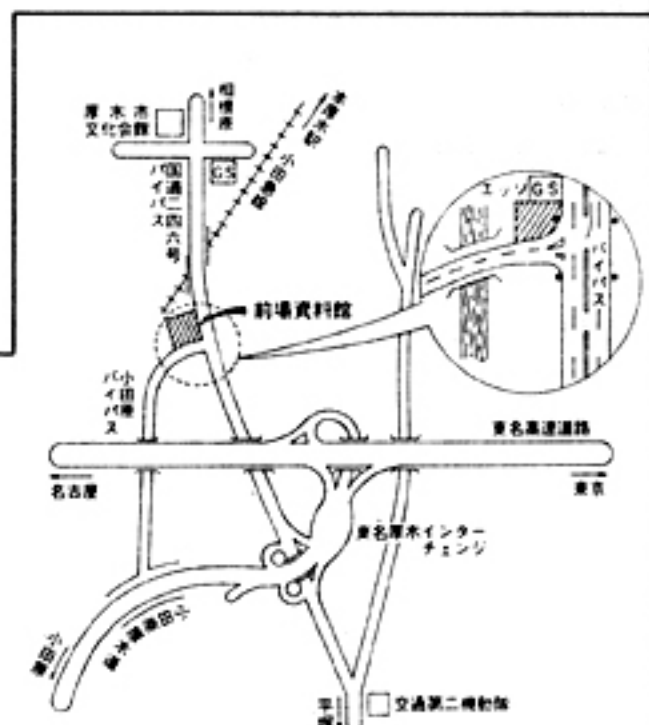
《利用の案内》

開館時間：午前9時～午後5時
休館日：日曜日・祝祭日
 年末年始（12/28～1/7）
入館料：大人200円
 学生、子どもは無料
交通：小田急本厚木駅下車徒歩17分
問い合わせ：TEL 0462-28-6664

「前場資料館」

2階が資料館

左の階段を使って入ります。



1月の行事予定

9	土	古文書講読会
16	土	平塚の空襲と戦災を記録する会
17	日	相模川の生い立ちを探る会 (足柄)
23	土	特別展記念講演会 「海辺の自然観察」 古文書講読会
24	日	古代遺跡を探す会 相模川を歩く会
28	木	裏打ちの会
29	金	星を見る会「火星・金星と月」

2月の行事予定

6	土	天体観察会(カノーブス)
7	日	古代遺跡を探す会
13	土	古文書講読会
14	日	相模川の生い立ちを探る会 (秦野)
20	土	体験学習「星座早見を作ろう」 平塚の空襲と戦災を記録する会
21	日	相模川を歩く会
25	木	裏打ちの会
27	土	古文書講読会

12/1~1/30 寄贈品コーナー「玩具資料」
 2/1~2/27 寄贈品コーナー「天文部門」
 3/1~3/30 寄贈品コーナー「民俗部門」
 12/12~1/30 冬期特別展
 「砂浜の発見ー漂着物の世界ー」
 11/7~1/10 プラチリウム「沈まない太陽」
 1/16~3/7 プラチリウム
 「電波でみる宇宙」
 3/13~ プラチリウム「太陽」

冬期特別展 開催中

砂浜の発見ー漂着物の世界ー

特別展図録 800円(受付で販売中)

■特別展記念講演会「海辺の自然観察」

海辺にはいろいろな生き物がくらしています。そこにはどんな観察の楽しみがあるのでしょうか。海の水辺観察の第一人者である林先生に紹介していただきます。

開催日: 1月23日(土)

時間: 14:00~16:00

講師: 林 公義氏(横須賀市自然博物館)

場所: 講堂

参加: 自由

■星を見る会「火星・金星と月」

2年ぶりの接近となった火星、よいの明星の金星、月のクレーターや海をながめます。

開催日: 1月29日(金)

時間: 19:00~20:30

場所: 屋上(科学教室集合)

参加: 自由

備考: 曇・雨天時中止

■体験学習「星座早見を作ろう」

星座早見盤を作って、使い方を体験します。

開催日: 2月20日(土)

時間: 10:00~15:00

会場: 科学教室

参加: 往復ハガキに住所・氏名・電話番号を記入のうえ、「星座早見」係まで

切: 2月10日(水)

定員: 30名(応募者多数の場合抽選)

参加費: 200円(当日持参)

「あなたと博物館」

定期講読のお知らせ

平塚市博物館の情報誌「あなたと博物館」は、ご希望の方に直接郵送しています。お申し込みは、住所・氏名・電話番号・ご希望の号(平成〇年〇月号~平成〇年〇月号)をお書き添えの上、62円切手を必要枚数同封して博物館までお送り下さい。

『あなたと博物館』 17巻10号 通巻196号 03000 発行 平塚市博物館

〒254 平塚市浅間町12-41

TEL(0463)33-5111 FAX(0463)31-3949